

授業概要

日本史はいかなる時代でも、天皇を抜きに考えることは不可能と言っても過言ではありません。古代から近世にかけての天皇のあり方の変遷を軸として、現代も存続する天皇の、それぞれの時期における特質を把握することを目指して講義します。また、時には映像資料も交えながら、現代の「国民の総意」に基づく天皇・皇族・天皇制を、前近代の視点から見つめなおし、各自が国民・有権者の一人として天皇・皇族・天皇制に向き合えるようになってほしいと思います。昨今の皇位継承や皇族の結婚問題など、天皇・皇族・天皇制のあり方が他人ごとではなく、将来の日本を担う一人としての責任を自覚できるようになってほしいと思います。

毎回、授業の感想や疑問をリアクションペーパーに書いて提出していただきます。その内容によっては、次回以降の授業内で教員からのコメントを行います。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	「天皇」号の歴史
第 3 回	女性天皇・女系天皇
第 4 回	臣籍降下—源氏と天皇—
第 5 回	皇位継承の諸形態
第 6 回	令和の皇位継承①
第 7 回	令和の皇位継承②
第 8 回	遷都とその終焉
第 9 回	個性を超越する天皇から個性に捕らわれた天皇へ—喪葬儀礼の変化から—
第 10 回	「如在之儀」と「不死の天皇」
第 11 回	律令官司と天皇
第 12 回	天皇における二面性—世界史の中の天皇—
第 13 回	平安宮その後—中世以降の実態—
第 14 回	武家政権と天皇
第 15 回	まとめ
第 16 回	期末レポート

到達目標

現代の天皇・皇族・天皇制のあり方は、『日本国憲法』第 1 条に、「主権の存する日本国民の総意に基く」と規定されている。従って彼ら・彼女らの将来やその身位を考えることは、各学生にとっても決して他人ごとではない。その前提としての天皇・皇族・天皇制のあり方や歴史の変遷を理解できる。

履修上の注意

- ・インターネット上の様々な情報を鵜呑みにせず、史資料に基づいた考え方ができるようになるよう注意すること。
- ・私語・遅刻などは厳禁。

予習・復習

- ・【予習】毎回事前に授業レジュメを配布するので、きちんと読んでおくこと。
- ・【復習】配布レジュメを読み直し、ノートを整理しておくこと。

評価方法

学期末に実施するレポートと、毎回授業時のコメントペーパーで評価する。
レポート(70%)、授業態度(コメントペーパー含む)(30%)

テキスト

教科書は指定しない。そのほか、関係する参考文献などを授業中に適宜紹介する。